

実技試験 準備品リスト

18 【基礎級 溶融亜鉛めっき作業】

「実技試験問題に『支給材料』『使用工具等』と書かれているもののうち、持参が必須のもののみです」

千葉県での受検では下記のことを人数分必ず持参して下さい。

(1名分)

○材料

更新日:2026.3.12

チェック欄	品名	寸法又は規格	数量	備考
	試験片	SS 又は SPCC 長さ150×幅75×厚さ3.2mm相当	1	上隅に支持ジグ取付け用の穴をあけておくこと(直径8mm程度)
	支持ジグ	針金 #14又は#10	1	試験片取付け用

○工具等

チェック欄	品名	寸法又は規格	数量	備考
	脱脂槽		一式	1会場当たり
	脱脂用水洗槽		一式	1会場当たり
	酸洗槽		一式	1会場当たり
	酸洗用水洗槽		一式	1会場当たり
	フラックス槽		一式	1会場当たり
	めっき槽		一式	1会場当たり
	冷却槽		一式	1会場当たり
	ドライヤ		適宜	
	時計		1	1会場当たり
	吊り下げ棒		1	鋼製のもの
	酸化かき棒		1	鋼製のもの
	ペンチ		1	支持ジグ取り外し用
	やすり	中目	1	試験片仕上げ用
	防災面付ヘルメット		1	フェイスシールド付
	アルカリ脱脂液	オルソ珪酸ナトリウム 30～50g/l 無水炭酸ナトリウム 15～20g/l 水酸化ナトリウム 20～30g/l 界面活性剤 1～2g/l 濃度 約5～12% 液温 約50～90℃	適宜	「規格」欄に準ずる液でも可 適宜補充または交換すること 脱脂槽に準備すること
	酸洗液	塩酸又は硫酸 濃度 約5～15% 液温 (塩酸の場合) 約20～35℃ (硫酸の場合) 約40～65℃	適宜	「規格」欄に準ずる液でも可 適宜補充または交換すること 酸洗槽に準備すること
	フラックス液	塩化亜鉛:塩化アンモニウム=1:3 濃度 約20～35% 液温 約50～90℃	適宜	「規格」欄に準ずる液でも可 適宜補充または交換すること フラックス槽に準備すること
	溶融亜鉛	浴中亜鉛 97.5%以上 浴温 約435～520℃	適宜	めっき槽に準備すること
	冷却水	水温 約50℃以上	適宜	水道水
	ウエス又はペーパータオル		適宜	
	ストップウォッチ		1	
	筆記用具		適宜	
	作業靴		1	安全靴又は安全ゴム長靴
	軍手		1	
	ゴム手袋		1	
	皮手袋		1	
	作業服		一式	長袖のもの
	飲料		適宜	熱中症対策、水分補給用
	標準見本		1	受検企業に事前にご用意いただくが、試験まで受検者には非公開とする。
	受検票		1	コピーしたものは不可
	実技問題	当協会から交付した原本 ※試験結果が出るまでは処分しないこと	1	コピーしたものは不可

※既定の寸法どおりのものをお持ちください。また必要に応じて予備も持参してください。